



発行
 社会福祉法人川崎愛児園
 児童養護施設白山愛児園
 発行月 令和3年1月
 住所
 〒215-0014
 神奈川県川崎市麻生区
 白山1丁目1番5号
 TEL:044(712)4071
 FAX:044(712)4074
 hakusan@ajlien.or.jp

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切にし、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

- 「命を大切にすること」
- 「地域の中で養育と子育て支援」
- 「健全な経営」

- 児童一人ひとりが命を大切にする心を持ち、心身共に健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かして地域社会に協力します。
- 一人ひとりの心身の成長に努めます
 - 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
 - 一人ひとりの幸福のために支援します
 - 自立した社会生活が営めるように支援します
 - 施設の社会的、専門的役割を果たします

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

- あいさつの正しくできる人に
- 健康な体と心をもてる人に
- 人に好かれ、社会に役立つ人に
- 感謝の気持ちをもてる人に
- 人との調和がとれる人に
- 思いやりのある人に
- 基本的な生活や自立した生活ができる人に

「ほごほごは難しい」

理事長



野村 隆

平素から白山愛児園に多大なご支援をいただいている地域の皆様、ボランティア団体・教育・行政の方々には感謝申し上げます。

また、こどもの養育に懸命な努力をしている職員みなさんに敬意を表します。

社会情勢が非常に不安定な中で、こどもの環境は厳しくなることが懸念され、養育する現場では緊張が強まっています。

白山愛児園を運営する社会福祉法人川崎愛児園は新型コロナウイルスへの対応について園長以下全職員が迅速に情

報を収集し、行政からの通知等に基づいてマニュアルを整備し、こどもと職員命を守ることに専念しています。現下、最大の社会問題は「新型コロナウイルス感染症」と経済活動のバランスをとるようになるか」に集中しています。

「二兎追う者は一兎を得ず」と云っています。ウイルス感染防止と経済活性化の二つを求めているように見えますが、追っているのは「命を守る」一兎であり、この目的を達するための過程に程度の差があると思っています。

こどもを養育していく過程で、愛児園では表記のように法人の基本理念・施設の基本方針・養護目標を設定していますが、これを達成するのに事例・事案によって対応の程度は難しいものです。

新型コロナの件で露呈しているように専門家（と云われる人）の見解は曖昧で日々変化しています。科学的数値で示すことの難しいこどもの養育はより難しく絶対的な標準は設定できません。

「〇〇ではこのようにして成果を挙げた」という例をまねることがありますが、条件・環境を考慮しないで取入れると失敗することは新型コロナ感染の

治療でまぐれ当りのようなことが取上げられていることでも改めて認識しています。

専門性が強くなるほど視野が狭くなります。経験が深くなるほど前例にとらわれます。「命を守る」ために「ほめる」「叱る」の程度をどうするか千差万別感じます。どのような過程であっても命が守られれば成功ですが「手術は成功したが死亡した」のでは困ります。今回の新型コロナウイルス事件で社会の弱点がいろいろ明らかになりました。私自身自省することの多い時期ですが、今はこどもと職員の安全を第一に考えます。

今後とも白山愛児園の運営について内外からの御助言、ご叱声をお願いします。

施設長



霜倉 博文

開所七年目を迎えた今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、学校休校が継続される中でスタートとなりました。園内外の行事、イベントも軒並み中止となり、子ども、職員とも

に行動が制限される中、園庭で子どもたちが職員と元気よく遊んでいる姿を見ると、私も元気になりました。こうした状況で、今年も広報誌「わかば」を発行することができ、うれしく思います。

マスクや消毒液が店頭から消え、入手困難な状況に陥りましたが、行政からの配布のほか、地域の方々や団体から多くのマスク、消毒液を寄付いただきました。手作りのマスクを届けてくださる方もいらっしゃいました。それぞれがご苦労をされている状況下において、地域の皆様をはじめ多くの方々のご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

学校休校の影響からか、併設しているはくさん児童家庭支援センターには、休校明けの不登校、行き渋りの相談も増えています。ショートステイ、デイステイのニーズも高まっていますが、利用調整を余儀なくされ心苦しい限りです。園の子どもたちが地域の皆様に支えてもらいながら育っているように、私たちも地域の子育て支援に取り組んでいきます。

学校が再開され、白山愛児園の子どもたちは、感染予防をしながら習い事や塾にも通っています。けんかもありますが、子どもたち同士で育ちあい成長しています。職員も新しい生活様式を意識しながら献身的に子どもたちの生活を支えてく

れており、頭が下がる思いです。

子どもたちは子ども同士で関わり合いながら、たくさん大人に見守られて成長してきています。まだまだ周囲の援助を必要としている子どもたちですが、限らない可能性を秘めています。地域の方々をはじめご支援してくださる皆様には、今後ともなお一層のご協力をお願いいたします。



事務員

角 紫苑

「あつ、角さんーこれ見てー!」

ユニットの玄関付近の外廊下を歩いているところを小学生の男児に呼び止められて振り向くと、ピカピカに磨き上げた立派な泥団子を見せてくれた。園庭の砂場の砂を使って作ったという力作だ。「大きくてピカピカだね」と驚くと、「泥団子名人?」と聞いてくる。数秒考えた後に思いつく丁寧に餌をやる姿を見て「餌やり名人だね」と褒めたのだった。餌やりを終

えた後に促した手洗いも丁寧で、今度は「手洗い名人だね」と褒めるとまた嬉しそうにしていた。その時のことを覚えていたらしい。

「そっだね。泥団子名人だね。」と返すと、にっこり笑って「じゃあね!」と自分のユニットの玄関へ駆けていく。この位置からは見えないけど、まさかその立派な泥団子を持ったまま部屋に入るの!?部屋の中で惨事が起きないことを願いながら、私はその後ろ姿を見送る。

彼はいつか白山愛児園を卒園しても、魚の餌やりや泥団子のことを思い出すことがあるだろうか。

白山愛児園の子どもたちは季節ごとの行事や招待行事、そしてユニットでの外出など、これまでも数多く経験してきたしこれから経験することもあるだろう。そのような特別なイベントでも忘れられない思い出を作ってほしいが、日常の何気ない出来事も覚えていてくれたら嬉しい。園での生活は不満に思うことや納得いかないことも、きっとたくさんあるだろう。どんなに彼らの気持ちに寄り添おうとしても、児童養護施設で生活した経験がない私には、真にその思いを共有することはできないのかもしれない。それ

でもこの願いはずっと変わらない。彼らが大人になって白山愛児園のことを思い出す時、どうかその思い出が彩り豊かな場面の連続でありますように。彼らの記憶の中の仲間や職員が、どうか穏やかな表情でありますように。

私もいつか「あつ、角さんーこれ見てー!」という声に振り向いたあの何気ない一場面をふと思い出すことがあるだろうか。私はきつとその声とともに泥団子名人のにっこり笑った顔を思い出す。

地域小規模『結』
ホーム長



望月 唯

地域小規模児童養護施設 結 は白山愛児園が開所して4年後の2017年6月に開所し、今年で3年が経ちました。地域小規模児童養護施設は地域の中でより家庭に近い環境で子どもたちと共に生活する場です。現在は一軒家をお借りして、幼児から高校生の児童5名と職員4人の9名で生活しています。毎日のがんびりと穏やかな時間が流れる

なかで過ごしています。

一軒家という特性を生かし、休みの日には1年に数回、庭でバーベキューを行います。また、毎年県内のキャンプ場で行うキャンプをこどもも職員もとても楽しみにしています。こどもと一緒にテントをはったり、川で遊んだり・・・。大自然の中でキャッチボールやバドミントンをして過ごす時間は格別です。

夜は一つのテントに集まりカードゲームで盛り上がるのが定番です。

スキーやテマパークなど、こどもの行きたいところ・やりたいことの見聞き、職員も一緒になって楽しみながら計画を立て、外出や外泊をしています。

普段は家の前でキャッチボールやバドミントン、縄跳びなどで遊ぶこともあれば、近所にある公園で学校の友達と待ち合わせして遊んで帰ってくることもあります。近所のこどもたちともよく遊んでいます。こども文化センターも近くにあります。こ祭りに参加したり、お泊り会に参加したりしています。

習いごとをしているこどももあり、地域の野球チームに所属しながら日々練習に励んでいます。職員がこどもの練習を観に行くこともよくあり、試合となればこそって応援に行きます。

また、年に数回地域の公園で掃除があるのですが、こどもと一緒に参加するこ

とで地域の方も徐々に覚えてくださり、うれしいことに話しかけてくれる機会も多くなってきました。近所の方との日常的な挨拶や会話はもちろん、野菜などをお裾分けしてくださる方もいてたいへんありがたいと思っています。少しずつ地域に溶け込めてきているように感じ、うれしい限りです。

このホームが開所するにあたって、家庭的、家庭らしさをどのように表現していけば良いか悩みました。ただ、「ホームだからこぞできることをしたい」こどもたちにとってホームを「自分の家」「帰る場所」と思えるような存在にしたいと考えていました。

そのために、「大事なこと」だけでなく、日々の生活の中での何気ない小さなことであっても、こどもと職員がきちんと相談し、向き合って話ができるように「ミニニケーションをしっかりとる」ことで、関係づくりや居場所作りに励みました。

開所当初から結で暮らしていたこどもが今年自立し、一人暮らしをスタートさせました。現在は学童保育で働いていますが、月に1回ほどホームに帰ってきます。そのこどもも「ホームが実家」という感覚でいてくれているようで、とてもうれしく思います。

今年度も、就職し自立するために送り出すこどもがいます。家族との交流もある

ため実家はあるのですが、「2つ目の実家」と思っ帰って来てくれたらうれしいです。

これからも自立し見送るこどもが増えていきます。帰って来る家である以上、帰って来たときはホームで暮らすこどもたちと一緒に「おかえり」と迎えてあげたいと思います。

白山まちづくり協議会 委員 富士本 実 様



今年の春、コロナ自粛期間中に我が家の押し入れの整理をしていたら息子（現在33歳）が中学生のときに作ったクラスの文集が出てきました。そして息子の頁を見て思わずうれしくて笑ってしまいました。「座右の銘」に「思いやりと正義感」と書いてあったからです。私には息子と娘、二人のこどもがいます。今は成人ですが、私はこの二人に物心つく三歳くらいから正座をさせ「思いやりと正義感

もった人間になれ」ということを何回も言い続けてきました。そして「思いやり」とは何か、「正義感」とは何か、具体的に説明させました。他に教育らしい教育はしていません。進学やら就職もすべて本人が決めてきました。私が言うのもなんですが、今はひとの痛みが分かる思いやりのある人間になったと思っています。

私です。私が会社にいたとき、職場でこの話をしたことがあり、その時ひとりの女性社員が『私もおばあちゃんに何故か「万引きだけはするな」と何回も言われた。そしてそれがずっと頭の中に残っていた』と言っていました。こどもはたくさんを言われても分からないものです。何かひとつ、人間にとって大切に奥深いことをたたき込む。私は子育てで大事なことでと思っています。

さて昨年からは愛児園の担当理事となった私ですが、サラリーマン生活を40年経験したおやじが愛児園のみなさんにエールを送ります。職員の皆さんへ。みんな元気で爽やかです。お世辞ではなく美女・イケメンが多い。愛児園の仕事は大変だと思えますが、たまには外に飛び出しているなひとと出会い、そのひとの話を聞いて欲しいと思います。愛児園の世界だけでは狭い。年代や業種を問わず、いろいろなひとと関係を作ってください。私の経験ではひととの出会いが読書や映

画などよりも自分の立ち振る舞いや人生観に大きな影響を与えるような気がします。そして、こどもたちへ。学校の勉強はもちろんです、いろいろな勉強をして教養を身につけてください。また、部活などを一生懸命やって肉体と精神力を鍛えてください。

柿生第1地区民生委員

児童委員協議会 主任児童委員

吉垣 君子 様

民生委員児童委員について

出生率の継続な低下等にともない「すこやかに子どもを生み育てる環境づくり」が社会全体の課題となる中、児童虐待・非行・いじめ・不登校の問題をかかえた家庭に対する相談、援助活動を行う児童委員への期待の高まりを背景に児童福祉に関する事項を専門に担当する主任児童委員が平成6年1月に制度化され、平成13年に法定化されました。川崎市は平成7年主任児童委員部会が設置されました。皆さんは主任児童委員って、聞きなれない言葉ではないでしょうか、主任児童委員は民生委員児童委員の中から推薦されます。厚生労働大臣より民生委員児童委員の委嘱を受け、厚生労働大臣より主任児童委員の指名を受けています。

民生委員児童委員との一番の違いが、推薦母体の違いです。民生委員児童委員は町内会・自治会などからの推薦です。で担当地域を持って活動をしています。でも主任児童委員は各地区民生委員児童委員よりの推薦ですので、各地区全体を担当しています。私は柿生第1地区全体を2人で担当しています。

主任児童委員は乳幼児（妊婦を含む）18歳までを担当しています。活動として、麻生地区内小・中学校に5月〜7月にかけてパンフレットを持参し、校長先生と情報交換・年1回末就学児対象の主催行事・施設見学などを行っています。

また、オレンジリボン啓発とし主任児童委員・各地区民生委員児童委員、会長にピンバッジを配布しています。

柿生第1地区での役割としては、子育てサロン担当・地域から子育ての相談があった時には関係機関に繋げることをしています。また、県立麻生養護学校ボランティア窓口も行っていきます。

白山愛児園とは立ち上げの時より関わらせて頂いていますので、これも微力ですけれど、関わっていききたいと思っています。

プロレスリング

ヒートアップ株式会社 代表

田村和宏 様



プロレスリングヒートアップ代表・プロレスラーのTAMURAです。「わかば」さんへ声をかけて頂きとても嬉しいです。ヒートアップはプロレスで社会貢献を目指し、日々活動しています。なぜプロレスで社会貢献を目指そうと思ったのか？私の家庭は決して良い家庭環境ではありませんでした。小学校1年生の入学式直後、母が蒸死しました。突然いなくなっただけです。僕には一つ上の姉がいます。ただの姉ではありません。ダウン症の障がいを持った姉です。父親と姉と3人暮らしを小学校低学年で経験しました。転機があったのは小学校4年生。父が再婚相手はなんと韓国人！障がいを持つ姉の家にいきなり韓国人の母が誕生したのです。ここで家庭円満・・・とはなりません。だって文化が違うんですもん。

言葉の使い方も変だし食べ物も違う。（母は毎日キムチ）だんだん反抗期を迎える私にとっては地獄でした。でも、それを救ってくれたのが「プロレス」なのです。プロレスを見ると日々のストレスや嫌な事を忘れさせてくれるのです。私はプロレスラーを夢見て生活していました。どうやったらプロレスラーになれるのか？強くなるためにはどうしたら良いか？？？そんな事を毎日考えながら生活していたら、毎日がとても楽しく感じました。希望ある未来しか見えなかったんですね。今はこうして夢を叶えましたが、今も夢があります。僕みたいになにか夢や目標を持った子供たちが現れ、将来一緒にご飯を食べる事です。夢と一緒に語れたらどんなに楽しいことか。愛児園さんの中にもそんな子供たちが現れてくれたらなと期待しています。だから、僕のプロレスをみて明日への活力にしてくれたら良いなと思っています。あっ、言い忘れましたが、今では家族みんな仲いいですよ。プロレスの試合も応援に来てくれます。プロレスで沢山の方に夢を与えて行きたいと思っています。



新任職員のごあいさつ



たねだ まや
種子田 真彩

私は、保育園の先生になることを夢見ていました。しかし、白山愛児園で実習を行った際に「ここで働きたい」という気持ちが芽生えました。その理由として、職員の子どもへの関わり方や一人ひとりのことを考えながら支援している姿をみて私自身も深く子どもたちに関わり、支援していきたいと思っただけです。

実際に働いてみて、子どもたちの支援の方法や声の掛け方に悩むこともあります。しかし、そこで諦めるのではなく、日々の関わりの中から一人ひとりにあった支援や声掛けを見つけていくことが大切なのだと思いました。徐々に子どもの特徴や性格なども知ることができ、それをまた楽しいと思うようになりました。

今年度はコロナウィルスが流行っているということもあり、最初の2か月間は学校もなく子どもたちは毎日園内で過ごすざるを得ない状況でした。しかし私にとってその時間は子どもと信頼関係を築き一人ひとりの子どもを知る、そして私自身を知ってもらうという面でも大切な時間でした。

この仕事は、子どもたちがどのように変化し成長していくのかをすぐ傍で見ることができ、とてもやりがいがあると感じています。我々の支援が今後、

子どもたちにとって成長の糧となるように日々学んでいきたいです。



わだ ともか
和田 朋佳

私は専門学校の授業の中で児童養護施設について知りました。自分が当たり前にしてきた生活が実はとても幸せなものだったのではないかと、その時思いました。白山愛児園で実習をし、多くの子どもたちの笑顔に触れました。子どもたちの育った背景は私には想像することすら難しく、衝撃を受けたことを今でも覚えています。様々な環境で育ってきた子どもたちに、当たり前にあるはずのあたたかい環境を提供したい、子どもは勿論、保護者の気持ちにも寄り添ってより良い解決策を一緒に探していきたいと感じました。また、実際の実習を通して家族・兄弟のように、ありのままの姿で生活する子ども・職員を見てここで働きたいと思いました。

実際に職員になって、子どもたちの支援は授業で学んだ内容だけでなく現場で学ぶことも多いと感じています。その中でも先輩職員の子どもに対する視点は、私にとって大きな学びです。「こんな視点を持つことで、こんな支援方法を考えられるのか!」と、毎日多くのことを学ぶことができます。できることが増えていく中で、自分のできないことや

苦手なことも発見することができ、毎日が勉強です。私は昔から子どもと関わることが好きで、現在の「好き」を仕事にすることができており、とても嬉しく楽しいです。そして何より、子どもたちが大人になった時に、今の私の行動や言葉が少しでも「子どもの力」となるように日々多くのことを学び、より良い支援をしていきたいと思っています。



まさ ひかり
牧 日花里

私は、保育園の保育士になろうと考えていました。大学で勉強をしていく中で、児童養護施設の役割を知りました。児童虐待が問題視される今の世の中で、児童養護施設は大きな役割を果たしていると感じました。また、私は施設実習として白山愛児園で実習をしたことで、より身近に児童養護施設を感じるようになりました。

白山愛児園は行事を通して地域の方々に関わる機会が多くあることから、地域の方々も一緒に子どもたちの成長を見守っているのだと、その時感じました。特に印象的だったのが、地域のお祭りでした。地域の方々が力を合わせてお祭りを作り上げている姿がとても輝いて見え、そのような経験ができるのは児童養護施設だからこそだと感じました。子ども

新任職員のごあいさつ

たちの成長のためには地域との連携も大切であると私は思います。私も幼いころは子ども会に所属し、地域の方々と接してきました。それにより、学校の登下校の際に挨拶をしてくれる人が増え、いつも見守られているようなあたたかさを感じたことを覚えていますが、実習を通して、地域の方々との交流も大切なのだ改めて気付くことができました。

白山愛児園の職員は「先生」ではなく「保護者」であり、より身近な存在だと思っています。初めは自分にそんな大役が務まるのだろうかと不安に感じましたが、子ども達は皆、可愛く人懐っこいため、抱いていた不安はあっという間に吹き飛びました。ここで暮らす子どもたちは、過去に色々なことがありましたが、今は楽しく暮らしています。そのような子ども達とこれからも楽しく暮らせるよう、支援を行っていききたいと思っています。



ふせ まゆ
布施 菜柚

私は、中学1年生の頃に児童養護施設の存在を知りました。その頃は保育園で働くことを目標にしていたため、児童養護施設の役割や入所児童について詳しくは知りませんでした。しかし、大学での社会的養護の授業を通して、子どもの成長に長く携われることや、生活の中で個別に合わせた支

援を展開していることを知り、興味を持ちました。実際に児童養護施設でボランティアやアルバイトをする中で、施設にいる子どもたちだけでなく、地域の方との交流や退所後のケアについて学ぶことができ、就職することを決めました。

実際に働いてみて、想像以上に悩むことや、難しいと感じることがとても多いと思いました。子どもたちへの伝え方1つを取っても、自分の思っているように伝わらなかったり、怒らせてしまったりすることがあります。その他にも、先輩職員の子どもたちへの関わり方をみて「こういう伝え方があったのか」と、毎日自分の未熟さを痛感しています。しかし最近は、学校での出来事を話してくれたり、一緒にキッチンに立って調理をしたりすることが増えました。「これが食べたいから作って欲しい」とお願いされたときや、「この前のご飯美味しかったよ」と言われたときに、とても嬉しく喜びを感じています。

今後も働く中で支援方法や、子どもたちとの関係性の築き方について悩むことがたくさんあると思います。そんな時は、身近な先輩職員の支援方法を見て学んだり、アドバイスを頂いたりして、試行錯誤しながら子どもたちと向き合っていくと思っています。また、常に学び続ける姿勢を忘れずに、子どもたちと一緒に成長していけるよう頑張りたいと思います。



ふるえ かなえ
古江 叶

私が「隣る人」の存在になりたいと思ったのは小学生の頃でした。小さいころから保育士になることが夢で、小学生の頃は自分が卒園した幼稚園のお手伝いに行くほどでした。

ある日、1枚の映画のチラシが目にとまりました。そこには「隣る人」という文字と共に、女の子が女性に抱きついている絵が描かれていました。それは児童養護施設で働く保育士さんのお話でした。当時の私は、一人の子どもに対してたくさん大人の話し合い、支えていくノンフィクション映画に心が奪われました。そして高校、大学と福祉を学び今に至ります。

現場に入ってみて、福祉を学んできた7年間という知識だけでは乗り越えられないことがたくさんあると感じます。基礎知識を学んできたことが自信となっていることも事実ですが、「人対人」という良くも悪くも気持ちがあふつかり合う現場は、身をもって経験しないと本当に知ることはできないということを実感しています。そして、人を相手にする職業であるからこそ「なぜそのような行動や言動になるのか」という疑問を毎日のように持つことができ、またその疑問を解決できるよう自ら行動に移し、振り返ることができます。現場とは、教科書だけでは

新任職員のごあいさつ

気付くことができない。自分が持っている力”だけでなく、“自分に足りていない力”を学ぶことが出来る場であると思っています。

『一度出会ったら人は人を失わない』と、ある本に書かれています。これは“一緒にいなくても、あの人がここにいたらと想像することはできる”という意味です。施設で暮らしている子どもたちにとって“今”“ここにいる隣の人の存在となり、また子どもたちが退所してからは、「あの人がいたらどうするだろう」、「あの人がいたらなんて言うだろう」と思い出してもらええるような存在になりたいと思います。そのためにも、これから子どもたちと信頼関係を深めていきたいです。



いわさき あかり
岩崎 朱里

私が児童養護施設で働きたいと思ったきっかけは、友人の紹介で高校2年生の時に川崎愛児園祭りに行ったことでした。当時、私は児童養護施設がどのような施設なのか全く知りませんでした。そのような中で川崎愛児園祭りに参加し、入所している子どもたちがとても楽しそうにしている姿や子どもたちが楽しめるように職員が頑張っている姿を見て、児童養護施設で働きたいと思いました。そこから児童養護施設のことを調べ、児童養護施設で働くためには保育士資格が必要であると

知りました。また、ピアノを2年ほど習っていたことや、自分の明るい性格が生かせるという点でも保育士資格を取ろうと思いい短大に入学しました。入学後は、実習や座学だけでなくボランティア活動に参加しました。また、自分の夢をかなえるためにも施設実習の回数を増やし、経験を積んできました。

実際に働き始めて数ヶ月が経ちました。コロナウイルスの影響により初めの1、2ヶ月は子どもたちと一緒に過ごす時間が長かったため、関係性を深めることができませんでした。しかしその中で子どもへの声の掛け方や関わり方、パソコン業務等で悩むことが多く、自分の未熟さを痛感しています。悩んだときは先輩方からアドバイスをもらい、それを受けて試行錯誤しながら頑張っています。今はできないことばかりで、先輩方に迷惑をかけてしまうこともありましたが子どもたちとたくさん思い出を作り、共に成長していきたいと思っています。



さとう たいすけ
佐藤 汰輔

僕がこの仕事に就きたいと思ったのは、この仕事に就くまでアルバイトをしていた学童での経験がきっかけです。大学では児童福祉とは全く関係のない学部で、福祉系の勉強や仕事などは興味がありませんでした。部活を引退後に学童のアルバイトを始め、小学生と関わる時間ができました。小学生のこ

どもたちと遊んだり関わったりする時間は僕にとっても楽しい時間でした。また、学童に来ていたこどもの家庭環境を知ったことで、何とかしてあげたい、遊び以外の場面でも子どもたちに携わりたいと思うようになりました。しかしその想いとは裏腹に、僕は“ただのアルバイト”という立場だったので、直接的に行動をすることができず、割り切らなければならぬ現状に悔しさを覚えました。

そこで、子どもたちに直接的に携われる仕事はないかと考えて探してみると“児童養護施設職員”という仕事を見つけました。

色々な施設を見学しに行きましたが、白山愛児園は保育士の免許がない僕でも受け入れてくれ、10月から働くことができ今に至ります。

実際に働き数ヶ月が経ち、やはり色々な壁にぶつかっています。僕は福祉の勉強をしてきたわけでもないし、資格を持っているわけでもありません。スタートラインに立ったばかりですが先輩たちが優しく教えてくれ、助けて頂きながら楽しく仕事することができています。また、子どもたちは人懐っこく優しいため逆に助けてもらいながら関わることができています。

僕の目標はこども・職員から慕われ、「佐藤さん」といって楽しい！”と思われる職員になることです。また、日々子どもたちと共に成長していけるような職員になりたいと考えています。

園での生活

マンションの1室のようにリビング・ダイニング・キッチン・バスルーム・トイレなどがある家庭的な雰囲気ので生活ができる居住空間で日々生活をしています。

201

幼児2名・小学生2名・中学生2名の計6名の男児が生活しています。年少児は外でサッカーやドッチボール・虫探しなどをして元気いっぱい遊んでいます。中学生は部活動や勉強に日々励んでおり、年少児4名と過ごす時間は僅かです。しかし時間があれば一緒に遊んだり、戦いごっこをしたりと仲良く遊ぶこともあります。喧嘩をすることもあります。子どもたち同士で解決しようと話し合うことができます。優しい気持ちを持ち、お互いを尊重し合えるユニットを目指します。



202

大学生・高校生・中学校生・小学校生 計6名の男児が生活しています。現在大学生の児童は、独り暮らしの練習のため自立訓練室という部屋で生活しており、実質5名での生活になっている202ユニット。年齢差はありますが、子ども同士で対戦ゲームを行ったり、ソファに並んでテレビを見たりと仲良く穏やかな毎日を過ごしています。

一人ひとりの個性を大切に、毎日楽しく元気に過ごせるようなユニットを目指していきます。



ショート・デステイ

ご家庭の理由により2歳から小学6年生までのお子さんを短期間お預かりするユニットです。日中にお預かりするデステイ、宿泊を伴ってお預かりするショートステイを実施しています。様々なお子さんが利用する為、多種類の玩具や工作の材料等の用意、工夫した食事の提供等、お子さんが安全で安心して過ごせる環境を整えています。利用されるお子さんと保護者の方の状況やニーズを知り、不安な気持ちを少しでも解消してご利用いただけるよう努めています。



白山愛児

301

3歳から中学3年生までの6人の女の子のお部屋です。年齢の幅が広く、お姉さんは年下の子のお世話をしてくれたり、困っている子がいると声を掛け合ったりとあたたかい雰囲気生活しています。自分のやりたいことや伝えたいことがたくさんあり喧嘩になってしまうこともあります。職員と一緒に相手への思いやりのある伝え方について考え、日々練習しています。自分も相手も大切にできるあたたかいユニットを目指します。



302

小学校2年生から小学校年6年生の5名と高校1年生の計6名が生活している、女の子のお部屋です。お洒落が好きな子、外で思い切り運動することが好きな子、ゲームや読書が好きな子。個性豊かで自分をしっかりもっている6名です。時には喧嘩をすることもありますが、すぐに仲直りし誰かが落ち込んでいると、誰かが励まし一人一人が優しく元気いっぱい、笑い声の絶えないユニットです。相手を思いやり、自分に自信をもって相手との違いを認め合えるユニットを目指しています。



303

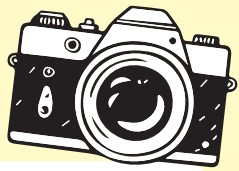
幼児2名、小学生3名、中学生1名の計6名の女の子が生活しているユニットです。外では砂遊びやドッチボールをするなど元気いっぱいです。また、年上児童が年下児童に玩具を貸してくれたり一緒にトランプをしたりと仲良く遊んでいます。気持ちを上手に伝えることができず喧嘩になることもありますが、互いの気持ちを理解し、しっかりと謝ることができる優しい子ども達です。思いやりの気持ちをもてる人に、また、自信をもって様々なことに挑戦できるユニットを目指しています。



結（地域小規模）

王禅寺東地域にある一軒家をお借りして、年中から中学生の男子3人、高校生の女の子2人が暮らしています。女の子2人はおしゃれ大好き！な今どきの女子高生。男子の子たちは習い事や部活動で、野球に打ち込んでいます。年中の男子も、頑張っているお兄さんたちの姿を見て「大きくなったら野球する！」と、頼もしい一言。地域の方々からあたたかく見守られ、地域との結びつきを感じながら、自分たちのペースで日々成長しています。





白山愛児園の 行事・イベント

1月
お正月

職員が鬼になり
各ユニットを廻ります
2月
節分 / 豆まき

子どもたちの卒業と
進級をお祝いします
3月
卒業と進級を祝う会

4月
お花見
バーベキュー

川崎市長や市社協会長が来園し
子どもたちの成長をお祝します
5月
こどもの日

7月
七夕
流しそうめん
AGS47様から笹と竹をいただき
短冊を飾ったり流しそうめんをしたり
と日本の風習を大切にしています

7月
夏期キャンプ

夏の大イベント！全員で
2泊3日のキャンプへ☆
自然と触れ合い
豊かな心を育みます

10月
白山愛児園まつり

おまつりと言えば「太鼓」！
太鼓と言えば「未来太鼓道場」さん！
魂に響く 迫力ある太鼓で おまつりを
盛り上げてくれます♪



白山まちづくり協議会の
みなさんには 毎年ジュース販売に
ご協力いただいています！

昨年は王禅寺中央小学校の
先生たちがサプライズで
出し物(合奏)をしてください
大盛り上がりでした♪

白山愛児園まつりのビッグイベント！
HEAT-UP！プロレス さんのプロレス★
子どもはもちろん 大人も大盛り上がりです！

各ユニットで練習した出し物を披露したり
美味しいケーキや料理を食べたり...☆

12月
クリスマス会

地域の方を招待し 子どもたちの
成長を見て頂きます

グリーンタウン夜市

グリーンプラザ商店会様



美味しい食べ物や
楽しいゲームにワクワク☆



アカシア夏まつり



盆踊りや合奏など
楽しい催し物が
いっぱい☆

アカシア自治会様



アカシアグリーンサポート47様

たけのこが入った
とっても美味しい豚汁を
食べさせてもらったよ☆

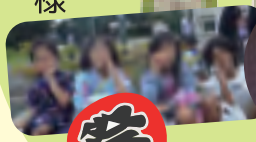
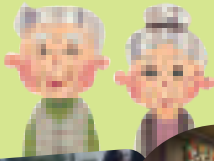


よしよ、よしよ
大きなたけのこ
とれるかな!

たけのこ堀り

特別養護老人ホーム
ラスール麻生様

彩流祭



レゴの展示も
たくさんでワクワク☆

地域の行事

たくさんの行事がある地域なので
こどもたちは大喜びです

お祭り、餅つき、たけのこ堀り

色々な行事で地域のみなさんと交流しています

納涼祭

白山愛児園もヨーヨー釣りを
出店し、みんなで力を合わせて
お祭りを作り上げます



お祭りの最後は花火☆



けやき祭

白山けやき自治会様



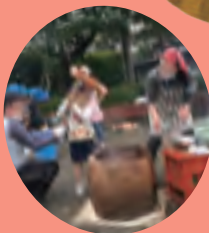
広場で火を焚き、わくわく★
出店もたくさん!



ポプラ祭

べったん、べったん
お餅つき体験をさせて
もらったよ!

白山ポプラ自治会様



和太鼓の迫力満点の演奏
がっこいい〜!!

焼き芋会

みんなでせっせと
落ち葉を集めよう!



ほくほくの甘〜いおいも
ありがとう♡

白山けやき自治会様

ぼくわたしのゆめ

バドミントンのせんしゅになりたい



こどもたちが
将来の夢を
絵にかいてくれました

パンケーキ屋さんになりたい



けいさつ官になりたい



ペットショップの店員さんになりたい



消防士さんになりたい



プリンセスになりたい



あまわりさんになりたい



バスのうんてん手さんになりたい



シンカリオンになりたい



アイスクリーム屋さんになりたい



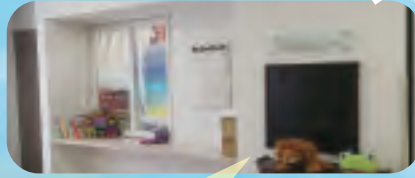
おもちや屋さんになりたい



こどもたちの夢が
叶いますように・・・！

はくさん児童家庭支援センター

- 対象：18才までのお子さまとそのご家族
- スタッフ：社会福祉士・心理士 など
- 利用料金：ご相談は無料です
- 受付日時：平日(月～金) 9:00～17:00
(祝日と年末年始はお休み)
- 主な担当区：多摩区・麻生区



子育てや家庭での悩みを一緒に考えながら、専門のスタッフが解決のお手伝いをいたします。

☎044-712-4073

来所相談
※事前に電話でご予約下さい
電話相談
訪問相談

平成26年4月にオープンした、こどもと家庭のための専門相談機関です。
こどものこと・家庭のこと・何でもお気軽にご相談ください。

必要に応じて地域の関係機関と連携し、
ご相談の内容に合わせて支援をいたします。

子育て短期利用事業

ショートステイ(宿泊預かり)
デイステイ(日中預かり)

対象：川崎市在住の2才～小学生のお子さん
料金：ショートステイ・デイステイのご利用は有料です。
※利用料はお問い合わせください。
利用方法：事前面談・申込みが必要となります。
☆ご希望の際にはお早めに、**まずはお電話でお問い合わせください。**

保護者の方が育児疲れ・病気・事故・入院などにより、子育てが一時的に困難になった場合に、一定期間お子さんをお預かりします。

※保護者・お子さんが感染症の場合などご利用いただけない場合があります。

わたしたちが
児童家庭支援センターのスタッフです



子育てサポート事業

○子育てスペース・マン(毎月第1水曜日 10:00～12:00)

小さいお子さまと保護者の方のフリースペースです。
広いスペースで親子でゆっくり過ごしましょう。
育児に関してのちょっとした相談にも応じます。
料金：無料です。

○ミニ・マン(毎週木曜日 10:00～13:00)

マンのスペースの一部をご自由に遊んでいただけるようにしました！
おもちゃも用意してあります。気軽に遊びに来てください。
料金：無料です。

※飲み物(水またはお茶)をお持ちください。

講演会・講座なども行っています。

利用時間帯：9:00～17:00

お休み：夏期(お盆時期)

年末年始(12/29～1/3)

お問合せ：地域コーディネーター
隈元まで

利用料金：無料

区内・当施設近隣で、主としてお子さまたちの育成に関わっている団体などに施設をお貸しいたします。

ご利用にあたっては事前に利用団体登録をしていただきます。

地域交流スペース

白山こども図書館 ほんの森

～赤ちゃんからシニアまで本を読んだり遊んだり
のんびり楽しめるにぎやか図書館です～

◎毎週火曜日
10:30～14:30
11:00～おはなし会・わらべうた
ほっこりカフェ
本の選び方相談など

◎第2、第4土曜日
13:00～16:00
14:00～おはなし会・わらべうた
ほっこりカフェ
なかよしクラブ(子ども活動)

にこりん

～ハンディを持つこどもと、そのママのためのサークルです～

月に1回、一緒に遊んだり、おしゃべりしたり、情報交換したりしています。
月に1回(日には月によって違います)集まっています。

先輩ママが保育ボランティアに入ることあり、くつろげるひとときです。

活動場所や時間は変更することがあるので、事前にお問い合わせください！

※詳細はお問い合わせください
にこりん(nikorin@ju.diao.jp)

げきだん・ふしぎな卵

～芝居を作ってみませんか～

私たち、普通に働く個性豊かな若者と、働くのに少し疲れたジジ・ハハの劇団です。

稽古では、やりたいことをやるにはどうしたら良いか、研究しています。芝居作りだけで生きて来た、米倉日呂登が演出しています。

※詳細はお問い合わせください
米倉日呂登(マサカネ一座)
☎: 044-852-3034
mail: theartpro@gmail.com

HPへアクセス
できます



親子ヨガ パラマナダ・ヨガ

～健康と幸せを軸に一緒に楽しい
コミュニティーを作っていく仲間を
いつでも歓迎しています～

お母様とお子様だけでなく、
お父様の参加も多い親子ヨガですので
ご家族で来てみてください。

◎日曜日 月1回
9:15～10:00

◎対象年齢：年齢問いません。
*お子様幼児～中学生まで。
(2歳まで無料。)



ご招待・ボランティア

小田急財団
あこやが号 ご招待



カップヌードルミュージアム
オービィ横浜へ招待してくださいました

HEAT-UP プロレス
プロレス観戦 ご招待



神奈川県
土木
工作教室



子どもたちの作りたい物を
一緒に作ってくれました

諸磯ヨットオーナーズクラブ
ヨットセーリング ご招待



神奈川新聞社
クロスメディア営業部
ヨコスカ恐竜パーク ご招待



三菱ふそう クリスマス会



たくさんのクリスマスプレゼントをもって
白山愛児園に訪問してくださいました

田園調布学園大学望月ゼミ
DCU祭 ご招待



学園祭の案内と
湯切り体験をさせていただきました

斉藤 美紀さん
紙芝居読み聞かせ



月に1度紙芝居の読み聞かせを
してくださっています

あかもと本舗 クリスマス会



たくさんのお菓子のプレゼントをもって
白山愛児園に訪問してくださいました

入ズケグループ労働組合連合会
自転車寄贈



自転車や自転車用グッズ
を寄付してください
ました

INASE チャリティーファイト
本寄贈・バーベキュー



本の寄付とバーベキューパーティーをさせていただきました

他 たくさんのご招待・ボランティア等
でご支援いただいております。
今年度はコロナウィルスの関係で残念な
ながらお断りをさせていただきましたが、
ボランティアのお問い合わせ・お申し出
もたくさんいただきました。あたたかい
ご支援に心より感謝申し上げます。

御寄付・御招待・ボランテイア 御芳名帳 (順不同)

松井晋 様
星加みゆき 様
井口幸洋 様
原田利裕 様
水野辰朗 様
江口綾乃 様
富野和子 様
矢儀俊郎 様
三宅陽子 様
鍋嶋弘子 様
石橋玲子 様
石橋弘文 様
東奈津美 様
奥山玲子 様
前田 様
太田裕 様
正本恵美子 様
宮下恵子 様
圓ひとみ 様
湯川弘子 様
川上則子 様
高橋正子 様
西谷明子 様
清水時子 様
伊東紘 様
富士本実 様
佐藤智代 様
三浦たまき 様
埜口明子 様
高橋登久子 様
植村トシ子 様
坂井マシミ 様
五十嵐隆一 様
垣谷江里子 様
羽根直子 様
山下裕子 様
井上和彦 様
齊藤美紀 様
中村秀久 様

本郷哲 様
江島京佑 様
ジャスティス岩倉 様
高橋映子 様
北條佳世 様
M.T 様

白山まちづくり協議会 会長 太田大二 様
けやき自治会 会長 吉元進 様
アカシア自治会 会長 村山健一郎 様
グリーンタウン白山ポプラ自治会 会長 木下正幸 様
さつき第二自治会 会長 伊藤雅子 様
AGS47 会長 立山信幸 様
白山納涼祭実行委員会 様
柿生第1地区民生委員児童委員協議会

主任児童委員 吉垣君子 様
日生百合ヶ丘自治会 会長 十亀博光 様
新百合ヶ丘自治会 会長 穂田正 様
新百合ヶ丘商店会 会長 小島龍彦 様
新百合ヶ丘自治会自主防災組織 本部長 樋口誠 様
琴平神社 宮司 志村幸男 様
新ゆりグリーンプラザ商店会 会長 菊池慶高 様
株式会社ハマデングリーンプラザ店 様
フジ薬局グリーンプラザ店 様
豆工房コーヒーローストグリーンプラザ店 様
小野接骨院グリーンプラザ店 様
株式会社ロンサール・P.L 様
アンティーク彦根グリーンプラザ店 様
SS進学教室新ゆりグリーンタウン教室 様
特別養護老人ホームラースール麻生

施設長 小林伸一郎 様
ヒートアップ株式会社 代表 田村和宏 様
チャリティーファイト INASE 代表 荒牧正二 様
虹の会 ほんの森 代表 米倉由布子 様
ぐるーぷ・もこもこ 代表 寺田弘子 様
ぐるーぷ・もこもこ 代表 水原元子 様
YaiYai 様
株式会社ライオン事務機 オフィス事業部
オフィス営業部 営業第三課 様

株式会社セント様
株式会社奥野設計横浜事務所 様
株式会社プレナスほっともと 様
一般社団法人 神奈川県養豚協会
一般社団法人 日本アイスクリーム協会 様
神奈川トヨタ自動車株式会社 様
一般財団法人 日本児童養護施設財団
全国児童養護施設 総合寄付サイト運営事務局 様
株式会社 あかもと本舗 ASA 新百合 様
フードバンクかわさき 代表 高橋実生 様
へアーメイク サンドリアン 様
全国シヤンメリー協同組合 様
株式会社 SL Creations (旧 シュガーレディー) 様
日本鏡餅組合理事長 樋口元剛 様
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 様
R3 Corporation 株式会社 一般社団法人 Nis 様
株式会社 カレンズ 様
読売新聞社

世界の野球グループ支援プロジェクト事務局 様
トレンドマイクロ株式会社 CSR チーム 様
特別養護老人ホーム等々力 様
Maison Pont Pois (メゾン・ボン・ポワ) 様
川崎市市長 福田紀彦 様
川崎市社会福祉協議会 会長 佐藤忠次 様
川崎市社会福祉協議会 様
川崎労働者福祉協議会 様
神奈川観賞魚親睦会 代表 長谷川賢太郎 様
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 様
地域子育て支援センターみなみゆりがおか 様
田園調布学園大学 望月ゼミ 様
白山保育園 様
国際フード製菓専門学校 様
スターガンサーズ・バレエ団 様
公益財団法人 小田急財団 様
神奈川新聞社 クロスメディア営業部 様
国際ソフチミスト 様
公益財団法人 日本プロサッカーリーグ 様
日本プロサッカー選手会 様
公益財団法人 報知社会福祉事業団 様
川崎市レクリエーション連盟 様
株式会社 Marvel Company 様
横浜銀行 地域戦略統括部
ブランド・CSR 推進グループ 様

諸磯ヨットオーナーズクラブ 様
株式会社 富士通マーケティング 様
未来太鼓道場 様
IIE (イチノイ) 様
川崎笑顔ツクロー隊 様
王禅寺中央小学校 校長 和田淳二 様
王禅寺中央中学校 校長 永野直樹 様
柿の実幼稚園 園長 小島澄人 様
北信土建 株式会社 様
株式会社 パナキリアカンパニー 様
神奈川土建 一般労働組合 座間海老名支部 様
三菱ふそうトラック・バス株式会社 様
文屋代表 木下豊 様
特定非営利活動法人
ブレイグラウンド・オブ・ホープ 様
ヒルトン 様
ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社 様
株式会社 少年画報社 ヤングキング BULL 編集部 様
青山学院女子短期大学 子ども学科 教授 横堀昌子 様
日本フィルメニヒ株式会社 総務部 マネージャー 山市裕紀 様
スズケングループ 労働組合連合会 会長 河邊行広 様
ベビークルトかわさき事務局 様
株式会社 ジェイ・ストーム 様
株式会社 エム・シイオー 様

※平成31年4月〜令和元年3月末日まで記載しております。
以降は次号にてご報告させていただきます。

この他、匿名でも多くのご寄付を頂戴いたしました。
日頃よりご支援・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。
います。

今年も皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。